

令和4年度 横浜市立日吉南小学校 出前授業 実施報告

はじめに

- 横浜市都市整備局都市交通課は、横浜市立日吉南小学校で出前講座を実施しました。この授業は「座学と体験」の2部構成となっており、今回は知識を学ぶ“座学”の出前講座を実施しました。
- 日吉南小学校は、東急東横線の綱島駅や日吉駅、市営地下鉄の日吉本町駅の3つの駅を最寄り駅とし、港北区の北部に位置する地域にあります。また、学校の近くには「日吉南小学校前」や「日吉元石川線入口」などといったバス停があります。
- 今回の出前授業のねらいは、バスやタクシーのバリアフリー機能などについて説明し、**障害のある方を理解するきっかけ**とすることにあります。

- 【日時】 令和4年11月4日（金）
1～2校時 8：50～10：25
- 【対象】 横浜市立日吉南小学校
4年生 1・2・3・4組
(125名)
- 【内容】 ①タクシー・バスのバリアフリーに関する座学



©株式会社バスコ ©ジオテクノロジーズ株式会社

学校へのアクセス

【東急東横線】日吉駅 徒歩 19分

綱島駅 徒歩 17分

【市営地下鉄】日吉本町駅 徒歩 15分

1 出前講座の全体概要

- 出前講座は、クラスごとに分かれ、知識を学ぶ“座学”と、実際の福祉車両や車いす等を使った“体験”で構成されています。

(※体験授業は国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局などが11月14日に実施)

- 座学の出前授業では、**バスやタクシーのバリアフリーの機能や導入台数などの現状や、モビリティマネジメントの考え方等**、様々な“知識”を伝えました。

■ 授業の様子



2 「バスやタクシーのバリアフリーに関する座学」の内容

- 座学では、『みんなに知ってほしい「バス」のこと』と題して、車いすの方やお年寄の方も含め、「誰もが同じように使える」バスのバリアフリーや、同じ公共交通機関であるタクシーのバリアフリーについて説明しました。
- 児童たちは、普段クルマや自転車を利用することが多く、バスをあまり利用しないようですが、塾や習い事に行くときなど、日常的にバスも利用している児童もいました。
- クイズを交えながら授業を行い、子どもたち自らなぜバリアフリー機能が必要なのかなどを考えてもらい、特定の人だけが使えるのではなく、「誰もが、同じように使える」ということが大切であるということを伝えました。
- 授業の後半では、移動手段を選ぶときは「環境」「お金」「便利さ」など様々な視点で、「行き先や状況に応じて、かしこい移動を考える」ことが大切であることを伝え、授業を終えました。

おわりに

- 車いすの方がバスやタクシーに乗車する際、スロープなどを使用していることや、バスの床を低くし、段差をなくすなどといったバリアフリー機能を学んだ児童たちは驚き、関心を持っている様子でした。
- 座学の授業を先に行い、バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方を学ぶことで、後日行う体験授業がより実りあるものになると思います。
- 今回のバリアフリー教室により、子どもたちがバスへの関心をもち、バスを上手に使い、またバスで困っている人をサポートするきっかけとなってほしいと思います。

■ 座学に用いた教材(一部)

バスのバリアフリー

ノンステップバス

床をできるだけ低くして、段差をなくしたバス。道路から約30cmの高さ。



スロープを使えば、車いすでも乗り降りができます。

UDタクシーってなんだ？

「ユニバーサルデザイン」タクシー



クルマいすに乗ったまま乗れる新しいタクシー

大事なことは…

特定の人のために作られた乗り物「誰もが、同じように使える」とい

誰でも利用できて…

みんなが同じ乗り物に乗って…



②小学生向けマンガリーフレット

